



ロータリー:  
変化をもたらす

RI 会長テーマ

2017~2018 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人



会 長 水野 賢一  
幹 事 鈴木 信男  
副会長 高木 久子

会長指針:

一人はみんなの為に

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

3月第1週例会 2018年 3月 1日(木)

ソング : 君が代・四つのテスト

ボックス : 33,000円

(報告者 紀室 綾子会員)

本日出席率 : 64.15% 前回修正後100% (メークアップ 23名)

(報告者 千田喜一郎会員)

### ★ 会長の時間 水野賢一会長



今年度のRI 2520 地区、藤崎三郎助ガバナー方針の一つに「地区会員数分の植樹をする」がございまして、これが結構難しくいまだに具体的にどうするか案が立たない状況でございました所、高田RCから4月8日に行われる「高田松原再生植樹祭」に盛岡RCと参加することになっているので、一緒に参加しませんか、との話がありました。植樹の本数も当クラブ会員数分以上に用意できるそうですし、時間も午前中で終わるとの事なので、西クラブとして参加する事にします。

参加確認の返事が12日までとなっていますので、詳しい実施内容は急ぎFAXいたします。

用意するものは、長靴、カッパ、軍手だけでよろしいので皆さんの参加協力をお願いいたします。

この企画に参加し高田RC・盛岡RCとのいっそうの親睦を深めましょう。

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 日本事務局より 3月のロータリーレート 1ドル108円と連絡が届いています。
- 名取ロータリークラブより 創立50周年記念式典等の案内が届いています。  
日 時 5月12日(土) 12時30分～ 場 所 名取市文化会館  
登録料 10,000円 締切り 3月31日
- 宮古ロータリークラブよりクラブ創立60周年とローターアクトクラブ創立35周年記念式典の案内が届いています。  
日 時 5月26日(土) 15時30分～ 場 所 浄土ヶ浜パークホテル  
登録料 10,000円 締切り 4月26日

## ◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

### ★ 松田福美青少年奉仕委員長

2月24日(土)に行われた東高校 IAC 三年生を送る会には、生徒14名先生2名ロータリアン23名計39名に参加いただき、味どころ休石さんの手作りで愛情たっぷりの食事頂きました。隣に座った生徒さんはバツケ味噌の器を3段重ねていました。

卒業生の、IAで培った経験を社会でも生かしていきたいとの発言や、本日の卒業式に参加し子供たちの姿を見て、ロータリーに入ってよかったと思いました。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆  
濱守豊秋会員卓話：「我がクラブの復興支援活動」



大津波の3日後の3月14日、行方不明だったクラブ会長（新沼さん）が現れ、びっくりすると共に喜び合う。新沼会長は美容室を経営していたが、美容室3店舗と綾里の自宅が流され、住む場所もなくなり大変迷っている。私の代わりに復興支援の方をやってくれないかとの話に了解する。

世界は元より、日本各地からの支援を受けながら大船渡西RC大型三大プロジェクトを立ち上げ、活動を始める。

1. 東日本復興支援球場の建設

フランス・リヨンRC米山さんより、マッチング・グラントを利用して何か支援したいとの話をいただき、末崎の小細浦に運動場を作る計画を立てリヨンからも了解を得る。

津波で家屋を失った人たちの為に学校の校庭に仮設住宅が建つ…子供たちの運動場がなくなる…子供達から運動を取り上げてしまったら、肉体的、精神的にどのような病気になるか？を説得力とし、財団より承認を得る。

2. 知的障害者のグループホーム「もみじ」の建設

神様が連れて来てくれた難民を助ける会と共同で建設費（土地代も含む）5,000万円で完成させる！

3. 鎮魂愛の鐘モニュメント

主旨「あの日を忘れない・生きる希望の鐘としたい」

3月11日の東日本大震災では、日本国内はもちろん世界各国の人々に、多大なご心配と数多くの支援を頂き心より感謝申し上げます。大震災では大船渡市民も420名の尊い命を奪われました。鎮魂愛の鐘は大震災で犠牲になられた多くの人々の魂をなぐさめ、安らかなご冥福を祈るとともに、残された家族・友人・知人市民一人一人が、3月11日の大震災大津波の大災害を忘れてはならない、風化させないために大地震発生時の午後2時46分に鎮魂愛の鐘を鳴らすプロジェクトで、フランス（1710地区）からは手動の鐘を作成していただき取り付け。

「神様に助けていただいた3つの支援活動」

- ・ 震災直後、支援物資の多さに被災者に届ける人出不足に困っていたら、アメリカの支援団体オールハンズがたずねて来た。
- ・ グループホーム建設に資金が足りなくて迷っていたら、難民を助ける会がたずねて来た。この時は自分が生きているんだっていう実感がわいてきた。
- ・ トウモロコシ婦人の話  
盛岡のロータリアンを通じて北海道より400本のとうもろこし支援の話あり、震災の初秋、食べたくても手に入らないとうもろこし処に誰に届けようか迷い悩んでいたら、神様がトウモロコシ婦人を連れてきた！？

「支援活動を行って私の思考」

- ・ その時々トップとしての決断力と行動力がいかに大事かを学ぶ！！経営者または職場のトップ、学校の先生方、施設などのトップとしての決断と行動。
- ・ 奉仕活動を一生懸命やっているプロジェクトがある。しかし、なかなか実現完成出来ない。どうすればよいか迷いながらもあきらめず、頑張っていればどこかで誰かが神様が見ている、それを助けてくれる。
- ・ 職業奉仕はもちろん、社会奉仕にしても、自分自身の体力の限界を知るべきである。支援活動に夢中になりすぎて、自分の体力の衰えも忘れてる。まず、自分が元気でなければ周りに迷惑をかけることになる。お互いに元気で奉仕活動を行いましょう。